

# 2012チャレンジ・ザ・ドリーム

受入れ期間；平成 24 年 1 月 23 日～1 月 27 日（5 日間）9：00～15：00

江戸川区の事業であるチャレンジ・ザ・ドリーム（職場体験）は、‘一人一人の生徒が社会性やコミュニケーション能力を培い、望ましい勤労観を育み、自分たちの将来を真剣に考える契機にしたい’との目的で取り組まれています。地域に開かれた病院として、当院でも 2010 年より受入れを実施しています。今回は、江戸川区松江第二中学校から「将来、医療に携わる仕事に興味がある、薬剤師さんになりたい…」という夢を抱く 2 名の中学 2 年生が参加しました。

「病院の仕事に対する興味が深まった」「いろいろなことを体験できた」という感想をいただき、私たち職員一同にとってもうれしい体験となりました。

‘病院で働く多くの職種を知ってもらいたい’病院を知ってほしい’という思いで、各部署がそれぞれの職種を知ってもらう機会の場合として、対応しています。できるだけ多くの職種、多くの部署の見学・体験をプログラムしていますので 5 日間はかなりハードスケジュールです。しかし、元気に明るく体験している姿に、そして真剣なまなざしに私たち働く職員の方がパワーをいただいた思いでした。

患者体験（車イス・ストレッチャーに乗る）や看護体験として血圧測定、シーツ交換を看護師と一緒に体験、また「患者体験」の一つとして治療食の摂食体験で塩分 6g の心臓食を食べていただきました。

いろいろな部署への訪問を通して、‘連携することの大切さ’‘相手を思いやる心の大切さ’など、感じとってくださったことは大変大きな学びではなかったかと思えます。「何年後かに医療職となって就職してね。待っています。」という職員の言葉に、うれしそうな様子も見られほほえましい場面もありました。今後の生徒たちの成長が楽しみであり、応援していきたいと思えます。

今後も、地域への貢献の一つとして、この事業に協力していきたいと考えます。

平成 24 年 2 月 8 日  
法人本部次長 桐田 泰造  
看護部長 藤野 恭子



\*感染対策

まずは、手洗い講習！  
ライトで洗い残しを確認しました。



\*リハビリテーション科では  
麻痺の患者体験をしました。  
利き手を固定し左手で文字を書くのは難しかったです！



\*看護体験としてシーツ交換を行いました。

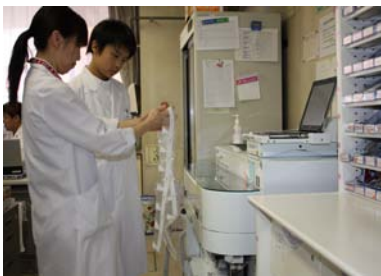
きれいに整えるのは意外と難しかったです。



\*内視鏡センターでは  
内視鏡操作体験に挑戦！  
専門性の異なるいろいろな科の医師達に  
お話しすることができました。



\*薬剤科では、薬の分包体験を行いました。  
何回見ても、分包器にはくぎ付け！



阿波根病院長より、修了証をいただき無事に  
5日間を終えました。お疲れさまでした。